

TamaHome®

**2016年5月期 第1四半期  
決算説明補足資料**

タマホーム株式会社 < 1419 >  
2015年10月13日

目次

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 発表のポイント (P. 3)     | 6. 非住宅事業セグメント実績 (P. 8)  |
| 2. 受注実績 (P. 4)        | 7. 連結損益計算書(P/L) (P. 9)  |
| 3. 売上高実績 (P. 5)       | 8. 連結貸借対照表(B/S) (P. 10) |
| 4. 営業利益実績 (P. 6)      | 9. 2016年5月期 見通し (P. 11) |
| 5. 住宅事業セグメント実績 (P. 7) |                         |

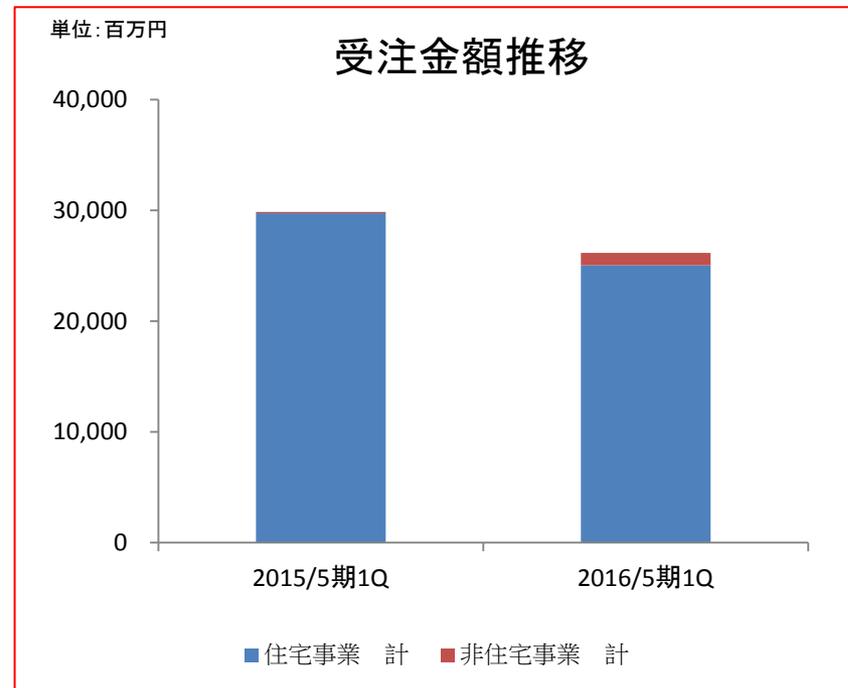
## 1. 発表のポイント

- 前期の消費増税に伴う受注反動減の影響で、期首受注残が前年同期より減少していたため、注文住宅の引渡棟数が減少
- 前期に分譲地を積極購入し、戸建分譲の引渡棟数が増加したことで不動産事業が増収

## 2. 受注実績

- 住宅事業は、2015年4月の消費増税後の反動減や、個人の消費マインド低下の継続などの影響もあり、前年同期比で15.8%の減少
- 非住宅事業は、前期に分譲地を積極購入し、戸建分譲の受注を促進したことで増加

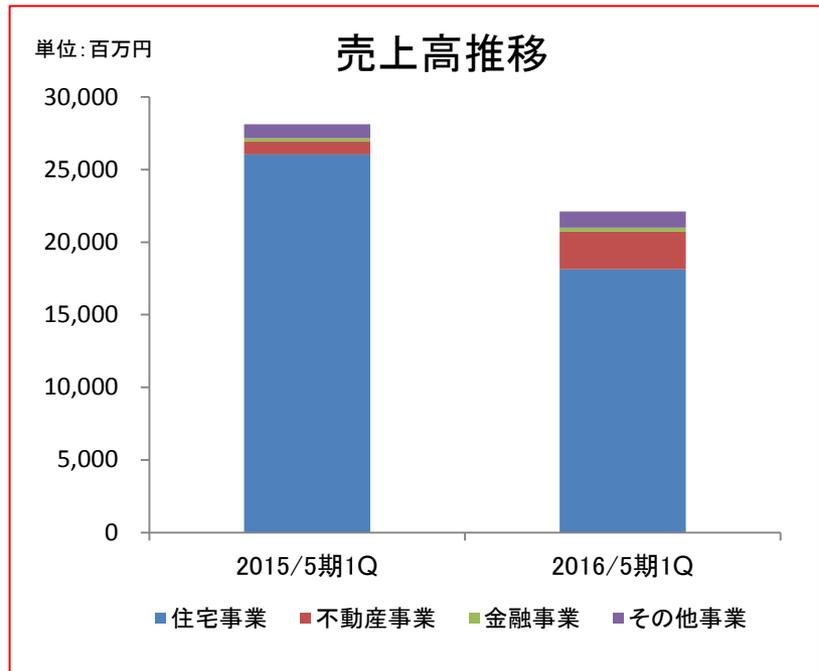
(単位:百万円)	受注金額		
	15/5期 1Q	16/5期 1Q	前期比
住宅事業 計	29,730	25,046	84.2%
注文住宅	29,600	24,976	84.4%
(棟数)	1,649	1,372	83.2%
賃貸住宅	55	0	0.0%
リフォーム	75	69	92.0%
非住宅事業	592	1,112	187.8%
総 計	30,323	26,158	86.3%



## 3. 売上高実績

- 住宅事業は前期の消費増税後の受注減の影響で、前年同期比で減少
- 不動産事業は、前期に積極購入した分譲地の販売が進み、前年同期比で増加
- 金融事業は住宅事業の引渡棟数減少の影響を受けるものの、火災保険付保率の向上、フラット35の利用率および手数料単価の上昇等で前年同期比で増加

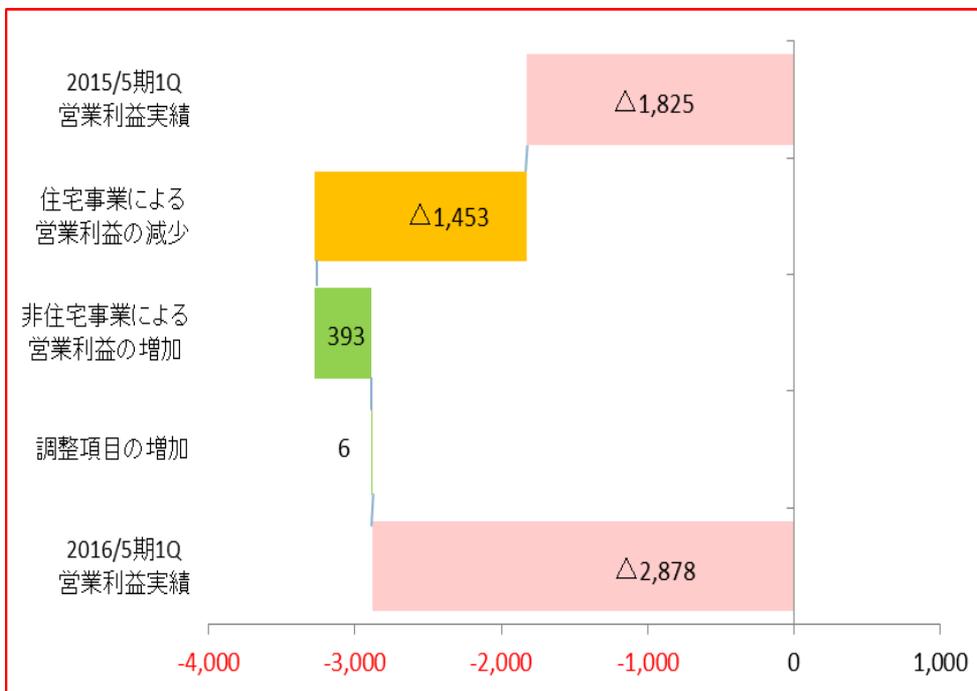
(単位:百万円)	売上金額		
	15/5期 1Q	16/5期 1Q	前期比
住宅事業 計	26,062	18,133	69.6%
非住宅事業 計	2,066	3,984	192.8%
不動産事業	861	2,585	300.3%
金融事業	243	285	117.5%
その他事業	962	1,113	115.7%
総計	28,129	22,118	78.6%



## 4. 営業利益実績

- 住宅事業は引渡棟数が前年を大幅に下回ったことから減益
- 不動産事業においては、分譲戸建の販売が前年同期比増加、マンションの販売も堅調に推移
- その他事業は、住宅事業における引渡棟数の減少により、住宅周辺事業が前年同期比で低調に推移一方、メガソーラー事業の商業運転開始に伴い売電収益が発生したことにより、損失額が縮小

(単位:百万円)	営業利益金額		
	15/5期1Q	16/5期1Q	前期比
住宅事業 計	-1,621	-3,074	-
非住宅事業 計	-207	186	-
不動産事業	-9	215	-
金融事業	105	142	134.8%
その他事業	-303	-171	-
調整額	3	10	-
総計	-1,825	-2,878	-



## 5. 住宅事業セグメント実績

- 売上高 : 18,133百万円(前年同期比 30.4%減)
- 営業損失 : 3,074百万円(前年同期営業損失 1,621百万円)

- 注文住宅の引渡棟数減少により、売上高は前年同期比減  
売上の減少に伴い、営業利益も前年同期比減

- 注文住宅平均販売単価は上昇

(2015/5期1Q) 1,759万円

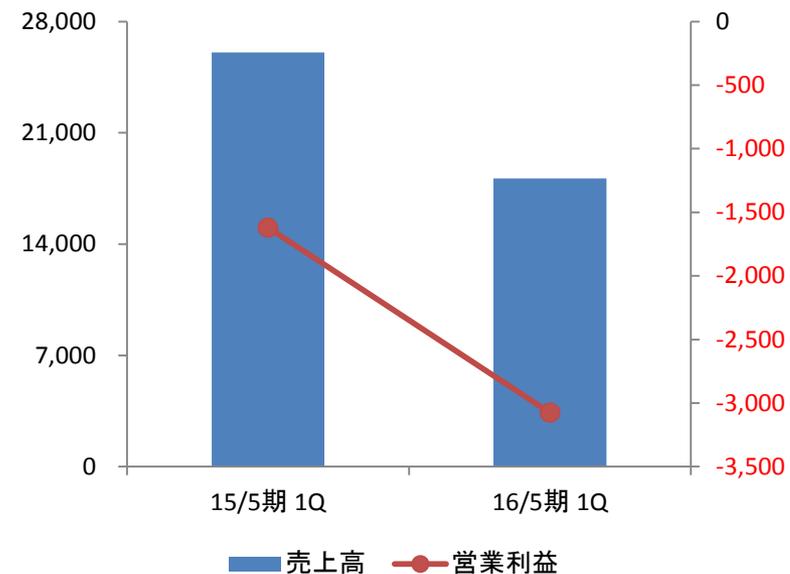
(2016/5期1Q) 1,796万円

- モデルハウス出店と既存店リニューアル

新規出店 1店舗

リニューアル 198店舗

単位:百万円



## 6. 非住宅事業セグメント実績

- 売上高 : 3,984百万円(前年同期比 92.8%増)
- 営業利益 : 186百万円(前年同期営業損失 207百万円)

## ● 不動産事業

前期に積極購入した分譲地の戸建分譲の引渡棟数増加により増収増益

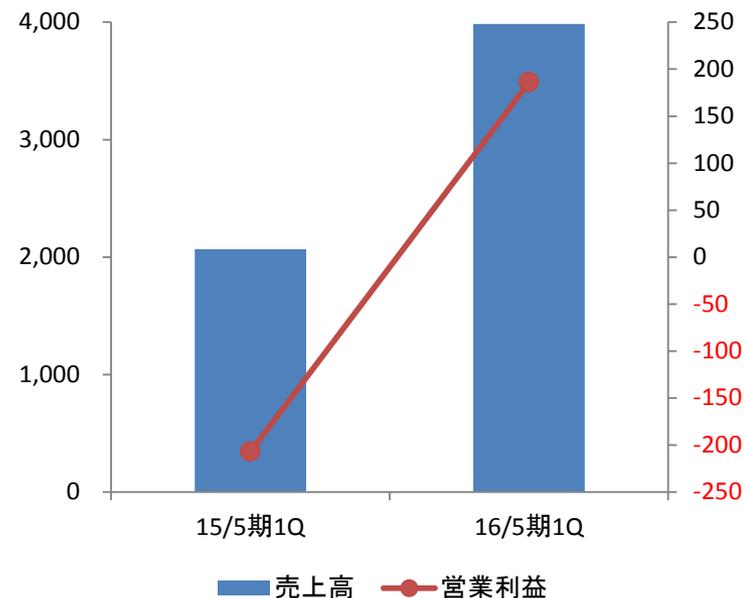
## ● 金融事業

注文住宅の引渡棟数減少するも、更改件数増加、火災保険付保率、単価共に上昇  
フラット35の手数料単価上昇、生命保険手数料増加により増収増益

## ● その他事業

住宅事業における引渡棟数の減少により、住宅周辺事業が低調に推移  
メガソーラー事業の商業運転開始に伴い損失縮小

単位: 百万円



## 7. 連結損益計算書 (P/L)

- 売上総利益率 25.9% : 前期からの価格改定により工事利益率が上昇
- 営業損失 2,878百万円 : 不動産事業、金融事業は増益、その他事業の損失縮小も、住宅事業の引渡棟数減少が響き、営業損失拡大

(単位:百万円)	2015/5期 1Q	2016/5期 1Q	増減	前期比
売上高	28,129	22,118	-6,010	78.6%
売上総利益	6,778	5,724	-1,054	84.4%
利益率	24.1%	25.9%	-	-
営業利益	-1,825	-2,878	-1,053	-
利益率	-	-	-	-
経常利益	-1,865	-3,065	-1,200	-
利益率	-	-	-	-
税引前当期純利益	-1,925	-3,114	-1,188	-
利益率	-	-	-	-
当期純利益	-1,421	-2,292	-871	-
利益率	-	-	-	-

## 8. 連結貸借対照表 (B/S)

- 資産 : ①現預金の減少 : 前期末が休日のため5月末支払手形の決済日が6月にズレ発生および、引渡棟数の減少  
②たな卸資産の増加 : 前期末に引渡し増加による減少後、仕掛販売用不動産の増加
- 負債 : ①支払手形、工事未払金の減少 : 5月末支払手形の決済日が6月にズレ発生および、引渡棟数の減少  
②未成工事受入金の増加 : 仕掛中物件の増加

(単位:百万円)	2015/5期4Q	2016/5期1Q	増減	(単位:百万円)	2015/5期4Q	2016/5期1Q	増減
流動資産	55,311	51,715	-3,596	負債合計	72,677	71,435	-1,242
現金・預金	27,119	16,317	-10,802	支払手形 工事未払金等	21,806	17,104	-4,702
受取手形・完成工事未収入金等・営業貸付金	3,307	4,199	891	短期有利子負債	11,340	12,529	1,189
たな卸資産	20,385	26,371	5,985	未成工事受入金	12,388	18,504	6,115
その他流動資産	4,499	4,828	328	長期有利子負債	15,299	15,119	-179
固定資産	31,760	31,818	58	その他負債	11,842	8,177	-3,665
有形固定資産	25,476	25,525	48	純資産合計	14,393	12,098	-2,295
無形固定資産	536	504	-32	株主資本	13,680	11,129	-2,551
投資有価証券	1,311	1,355	44	その他包括利益累計額	378	595	217
その他投資等	4,435	4,433	-2	非支配株主持分	334	373	38
資産合計	87,071	83,534	-3,537	負債及び純資産合計	87,071	83,534	-3,537

## 9. 2016年5月期 見通し

- 2016年5月期通期業績については、2015年7月14日発表の予想数値から変更はございません。

(単位:百万円)	2015/5期1Q 実績	2016/5期1Q 実績	2016/5期 通期計画
売上高	28,129	22,118	153,700
売上総利益	6,778	5,724	38,500
利益率	24.1%	25.9%	25.1%
営業利益	-1,825	-2,878	2,800
利益率	-	-	1.8%
経常利益	-1,865	-3,065	2,800
利益率	-	-	1.8%
税引前当期純利益	-1,925	-3,114	2,400
利益率	-	-	1.6%
当期純利益	-1,421	-2,292	1,000
利益率	-	-	0.7%

The logo for TamaHome, featuring the brand name in white sans-serif font on a red rectangular background.

< お問い合わせ先 >

タマホーム株式会社 経営企画部広報・IR課

TEL : 03-6408-1200

<http://www.tamahome.jp/>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向および市場環境や当社の関連する業界の動向、その他内部・外部要因により変動することがあります。  
従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。